



ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021 年度 国際ロータリー会長  
ホルガー・クナー



本日の卓話者 米山奨学生 リシタ君 (スリランカ) の「私」より

# WEEKLY REPORT

Rotary International District 2720 Kumamoto South Rotary Club

国際ロータリー第 2720 地区

熊本南ロータリークラブ

週報

例会日：毎週月曜日 12：30～13：30

例会場：〒860-8535 熊本市中央区上通町 2-1 ホテル日航熊本内

創立日：昭和 33 年 9 月 1 日 (承認昭和 33 年 11 月 24 日)

会 長：河津延雄 / 幹事 丸山浩之 / クラブ広報委員長 / 大津英敬



## 第10回例会記録(通算第 2851 回)

令和 2 年 (2020) 年 11 月 9 日

斉唱 国歌 君が代

ロータリーソング

「それでこそロータリー」

### 来訪者紹介

ワハラ タントリゲ リシタ ディーラカ

ウィックマル スバシンハ君

(米山奨学生/スリランカ)

角町博記様 (荒尾 RC)

末安俊治様 (荒尾 RC)

石崎信雄様 (荒尾 RC)

蓮本英治様 (荒尾 RC)

### 今日の例会

- 1 今日の歌
- 2 来訪者紹介
- 3 会長・幹事報告
- 4 第2回クラブ協議会

### 今月・来月の行事

11/21 (土) 職業奉仕ハイブリッドセミナー  
@熊本城ホール

## 会長報告 (河津延雄君)

皆さま、こんにちは。本日も例会参加ありがとうございます。本日のご来訪者は米山奨学生でスリランカ出身、崇城大学生のワハラ タントリゲ リシタ ディーラカ ウィックマル スバシンハ君、荒尾 RC では「リシタ君」と呼ばれるとのこと。そして荒尾 RC カウンセラーの末安俊治様、石崎信雄様、蓮本英治様、前年度会長 角町博記様です。本日はよろしくお願ひいたします。外部卓話は先ほどご紹介しました米山奨学生のリシタ君です。よろしくお願ひします。

11月5日「第2回熊本市域 RC 会長・幹事会」に丸山幹事と共に出席しました。担当クラブは熊本北ロータリークラブでした。議題1 新春合同例会についてで、ホストクラブ 熊本菊南ロータリークラブの提案でした。菊南ロータリークラブ内でコロナ禍の中での開催について予定通りの開催、少人数での開催など型を変えての開催案、医療関係者からは中止案などが上がりなかなか判断がつかない中、先日4日のリスクレベル3への上昇と大分臨海 RC から大分での新春合同例会の中止の連絡もあり、本日の会長・幹事会で中止の判断を提案したいとの説明があり各ロータリークラブの挙手で 14RC が中止、2RC が開催と多数決で中止が決定しました。

尚、中止に伴い硯川ガバナーの新年ビデオメッセージを各クラブに配布し例会で流す事になりました。当クラブ新年最初の例会は日程が決まり次第ご連絡いたします。新年ですので多数の方のご出席よろしくお願いたします。

議題2は木村 初ガバナー補佐からの提案で、サインメーカーキャップについてでした。標準ロータリークラブ定款でメーカーキャップは同じ年度と以前の例会の前後14日間から大きく緩和されており、例会参加の意義について各クラブでサインによるメーカーキャップが必要かどうか今一度考えて頂きたいとの思いで提案しましたとの事でした。この件については各ロータリークラブでの判断での実施となっていますので、当クラブではこれまで同様サインメーカーキャップはOKとさせていただきます。

議題3は熊本江南ロータリークラブからの提案で、当初は子供たちの未来プロジェクト及び一人親支援についてでしたが、急遽内容が追加され夏の豪雨災害で芦北町の図書館に子供達向けの本を寄贈したいので熊本市域ロータリークラブで協力していただけないかとの提案でした。各RC毎に意見を求められましたので、当クラブとしてはすでに人吉・芦北のRCに義援金を送っている、又、青少年奉仕のイベントも毎年実施しているので予算の問題もあると説明しました。他のロータリークラブでは協力したいとの意見が多くあり、熊本江南RCで具体的な内容を検討して改めて市域ロータリークラブにお願いすることと成っています。内容を検討し理事会等で改めて検討する予定です。

11月8日には国際ロータリー第2720地区社会奉仕・国際奉仕・公共イメージ合同セミナーが熊本城ホールで開催され丸山幹事と共に参加しました。園田社会奉仕委員長はZOOMでの参加となりました。国際奉仕部門からはグローバル補助金の概要や資金調達の方法等について説明があり、申請していないロータリークラブは積極的に申請してもらいたいとの事です。社会奉仕部門からは前年度のコロナウイルス感染症関連での報告があり、フェイス・シールド、マスク、ハンドジェル、アルコール消毒液等の寄付・寄贈について説明がありました。又、コロナだけでなく人吉・芦北地区の豪雨災害時の支援についても報告があり堀川ガバナーノミニが支援物資を運び配布した写真等も報告されました。尚、現時点で承認されている地区補助金のコロナ対策と災害対策への事業内容変更については変更が可能となりますので地区事務所を確認してくださいとの事でした。公共イメージ部門からは会員のMyRotaryへの登録依頼とMyRotary内のクラブセントラルからの各クラブの目標設定を年内に行ってくださいと依頼がありました。又、各クラブの活動内容についてロータリーショーケースへの登録依頼もありました。ここには喜讀会長年度の台

北大同扶輪社との活動報告が掲載されていますが残念ながら台北大同扶輪社側が記載した内容でした。

以上、会長報告です。

出席報告 (池崎龍彦君)		
会員数	出席数	出席率
62名	34名	56.67%
出席規定適用免除者 2名		欠席記録免除者 1名
名誉会員 0名(会員数には含まれません)		

#### 幹事報告 (丸山浩之君)

- 1.熊本南 RAC より10月例会報が届いております。
- 2.姫路南 RC より10月週報が届いております。
- 3.次回(11/16)例会は、卓話の時間を頂戴し「第2回クラブ協議会」を開催いたします。事業予定のある委員会は11/11(水)までに資料の提出をお願いいたします。

#### 例会変更のお知らせ

○江南 RC～職場訪問のため場所変更

[日 程] 11月18日(水)12:30～

[場 所] NTT 西日本 熊本支店

○05福祉 RC～定款に基づき休会

[日 程] 11月24日(火)12:30～

○りんどう RC～定款に基づき休会

[日 程] 11月26日(木)13:00～

#### 委員会報告

##### ●雑誌委員会 (桑原幸雄君)



皆さま、こんにちは。今月のテーマはロータリー財団月間です。また、11月2日～8日は世界インターアクト週間です。

3ページにRI会長メッセージが掲載されています。多様性についての記事が掲載されています。7ページから13ページまで「グローバル補助金を知ろう」の記事では、ロータリー財団月間という事で、グローバル補助金を使った支援活動についての紹介が掲載されています。海外のロータリークラブと連携したり留学生に奨学金を給付するなど、補助金の有効な使い方はさまざまです。補助金を利用することで奉仕活動の幅も広がります。ぜひこの機会に、グローバル補助金を活用した新たな奉仕活動を模索されてはいかが

でしょうか。14、15 ページには、ロータリアンとパートナー団体の懸命な努力により、WHO アフリカ地域で野生型ポリオウィルスの根絶が認定されました。と掲載されております。16、17 ページには、「地域に貢献するロータリーの芽インターアクター」という事で、インターアクターたちの活動が紹介されています。18 から 27 ページまでの「どうなった？例会」の記事では、新型コロナウイルス感染症が国内ロータリークラブの活動に与えた影響についてのアンケート結果が掲載されています。97.2%のクラブが例会を休会したのに対し、2.8%のクラブは例会を休会していないという事である意味驚きました。また、オンライン例会の開催など工夫をされているクラブもあるようです。

続いて縦書きです。4 から 8 ページまで「世界で活躍する人材 ロータリー平和センター」国際基督教大学の前学長、日比谷様の記事が掲載されています。歌壇と柳壇には、熊本中央 RC の波佐間会員の作品がそれぞれ掲載されています。

ロータリアンネットワークには、熊本中央 RC が市民病院にサーモグラフィカメラを寄贈した記事と、熊本西南 RC が南区の全小学校 21 校にアルコール消毒液を寄贈した記事が掲載されております。

以上、ロータリーの友 11 月号の報告でした。

### ●R 財団委員会 (雑賀庸泰君)

皆さま、こんにちは。R 財団委員会より R 財団100ドル寄付のお願いです。今月は「ロータリー財団月間」です。詳細は後ほど事務局よりお知らせいたします。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### ●スマイルボックス(三角雄介君)

○角町博記様・末安俊治様・石崎信雄様・蓮本英治様  
(荒尾 RC) X

本日はよろしくお願いいたします。

○河津延雄君・後藤 博君・丸山浩之君・玉田光識君  
森本康文君・坂本幸樹君・北口 誠君・松茂信吾君  
当クラブへの来訪者 荒尾 RC の角町博記様、末安俊治様、石崎信雄様、蓮本英治様、米山奨学生 ワハラ タントリゲ リシタ ディーラカ ウィックマル スバシンハ君を歓迎いたします。また、卓話者 リシタ君に心から感謝します。

○堀川貴史君 II

荒尾RCの皆さまのご来訪を心より歓迎申し上げます。また、先日関係もないのに地区RYLA委員会の視察に参加させていただき、行きも帰りも三角RYLA委員長に乗せて行っていただきました。心より感謝申し上げます。

○沼野修一君

本日の卓話者 リシタ君に心から感謝します。卓話楽しみにしています。

○網川 久君

先日、堀川さん、三角さん、古財さんと御所浦へ古墳探しに行ってきました。三角さんにおかれましてはお迎えから帰りの送迎まで大変お世話になり誠にありがとうございました。すごく楽しかったです。また行きましょう！

○谷口英樹君

昨日、NTT西日本 熊本支店が桜町ビルから新九品寺ビルへの移転が終わりました。これまでお世話になった近隣の皆さまに感謝を込めてスマイルします。

○齊藤直信君・野口泰則君

一雨ごとに冬が近づきます。そして今日は日本晴れです。素晴らしい天気にはスマイルします。

### ●米山卓話 (沼野修一君)

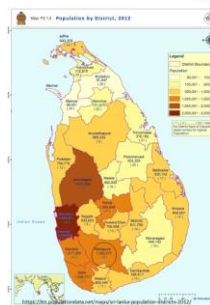
#### 「私について」

ワハラ タントリゲ リシタ ディーラカ ウィックマル スバシンハ君 (スリランカ / 崇城大学)



#### 自己紹介

- ・ 名前: ワハラ タントリゲ リシタ ディーラカ ウィックマル スバシンハ
- ・ 年齢: 今年28日に29歳
- ・ 母国: スリランカ
- ・ 所属学生クラブ: 荒尾ロータリークラブ
- ・ 学校: 崇城大学
- ・ 学部: 生物生命学部
- ・ 学科: 応用生命科学科4年生
- ・ 米山記念奨学生期間が来年度の3月まで



#### スリランカ

- ・ 総人口: 約2000万
- ・ 首都: シリ・ジャヤワルダナプラコッotte (地図一番濃く示している場所) \*人口が最も多い地区
- ・ 地理: 州の数が9で25地区に分けられている。
- ・ 政体: 民主社会主義共和国



#### 私の卒業研究

- ・ 線虫のインスリン・シグナル経路を制御する分子種の解析です。

- ・米山記念奨学生になってから経済的に安定になったので勉強以外の日本の様々な文化が学べるイベントなどに参加することが出来ました。
- ・世界中から友達が出来ました。
- ・人の前で話すのは苦手だったが奨学生になってから卓話などの練習が出来て今こうやって皆さんの前で話せるようになりました。
- ・例会などに参加して立派なロータリアン達から将来立派な社会人になるための経験がたくさん得ることが出来ました。

## 将来の目標

- ・副作用のない治療が足りない、また治療法がないなどの問題の世界中の多くの人々が糖尿病またガンなどの病気で苦しんでいます。
- ・私の将来の目標遺伝学を用いてがん、糖尿病のための治療開発です。
- ・大学では遺伝学専門の研究室に所属しています。将来（博士課程）は免疫遺伝学を極めて免疫遺伝学を用いた糖尿病の治療法を開発の研究計画を立てている途中です。



### ロータリアン達に一言

- ・私は米山記念奨学生になってから私の日本の生活が本当に楽しくなりました。今まで経験したことがないたくさんのお話を聞けることが出来ました。経済的にも不安定だった私の学生生活がとても楽になりました。新型コロナウイルスの中でもおかげで無事生活を送っています。本当にありがとうございます。

これからもよろしくお願いいたします。

## ■RI ニュース（国際ローターHPより）

### 「コロナ禍でもポリオ根絶活動が継続」

コロナウィルスの流行は、この疾病そのものだけでなく、幅広い保健分野に影響を及ぼしています。2020年5月、世界保健機関は、世界の1歳未満の子ども800万人が、各種の疾病のための定期的予防接種を受けていないと報告しました。予防接種従事者、乳幼児、その家族の間で濃厚接触が考えられるコロナ禍で、ポリオの予防接種を一時停止することは必要なことでした。しかし、ユニセフのヘンリエッタ・フォア事務局長は、「一つの疾病の発生に対処するために、もう一つの疾病を無視することはできない」と警鐘を鳴らします。課題に直面している現状にあっても、ポリオ根絶へのロータリーの支援はこれまで以上に重要となっています。2020年1月、ビル&メリンダ・ゲイツ財団とロータリーは長年のパートナーシップを更新し、今後3年間にポリオ根絶のために4億5000万ドルを集めることを表明しました。ロータリーは毎年500万ドルを集めることを目標としており、これがゲイツ財団より2倍の上乗せを受けることになっています。「コロナウィルスの流行への対応が緊急的な世界保健における最優先事項である中で、私たちはポリオ根絶活動でのこれまでの進展を維持していかなければならない」と話すのは、ロータリーのインターナショナル・ポリオプラス委員長で、世界ポリオ根絶推進活

動（GPEI）ポリオ監視委員会メンバーでもあるマイケル K. マクガバン氏です。マクガバン氏は次のように述べています。「最近達成されたアフリカ地域のポリオフリー認定が示すように、ポリオのない世界は達成可能です。しかし、ポリオのない世界という私たちの約束を果たすために、残り2カ国となった常在国において焦点を新たに定め、継続したポリオ根絶活動を行っていくことを最優先事項としなければなりません」3月、GPEIはポリオの予防接種とサーベイランスのために構築されたインフラを生かし、世界におけるコロナウィルス流行への対応で支援を提供しました。GPEIはその間も、ポリオ予防接種が安全に再開できるようにするために、資金やそのほかのリソースを充て、必要に応じて予防接種とサーベイランスのインフラを調整しました。ポリオ根絶活動は、最前線の予防接種従事者や地域社会を守るための対策をもって、7月に再開しました。ロータリー会員からの寄付を通じ、ロータリーは6月に5000万ドル以上のポリオプラス補助金を支給し、アフガニスタンとパキスタン（野生型ポリオウィルスが残る最後の常在国）とアフリカ全土でのポリオ根絶活動の支援に充てました。アフガニスタンでは、コミュニケーションと地域社会への働きかけ（社会動員）が必要不可欠です。この活動には、衛生習慣の推進のための石鹼300万個、ポリオやコロナウィルスから身を守る方法の指導、予防接種活動に対する地元の理解促進などが含まれています。パキスタンにおける社会動員活動は、モスクでの会合や祈祷の際に予防接種を推進することのできる地元の宗教リーダーへの働きかけに焦点が当てられています。6月、WHOは2021年第一四半期におけるコンゴ民主共和国での準全国予防接種日に資金を提供することを決定しました。ロータリーからの300万ドルの補助金は同国における840万人の子どもたちへの予防接種に充てられます。WHOアフリカ地域事務局は、アフリカ大陸の47カ国におけるポリオのサーベイランスを継続します。400万ドルのポリオプラス補助金は研究所やサーベイランス活動、便サンプルの輸送や研修の実施に生かされます。この資金はまた、コロナウィルスによる手続き上の変更もサポートします。2020年10月24日に行われた世界ポリオデーにおいて、ロータリー会員は世界的流行の中にあってもポリオ根絶活動を継続していくことの重要性を訴えました。ポリオのない世界を実現する闘いのために、これまで以上にすべてのロータリー会員からの支援が必要となっています。

